

本年度においても、一層の誘客を図るため、関係機関との連携を強化し、道内外での観光プロモーションやさまざまな情報媒体の活用により、厚岸町の魅力である食と自然景観などの旬な話題を発信するとともに、引き続き漁業・酪農業と連携し、観光産業の振興を図ってまいります。

厚岸道立自然公園の国定公園化については、昨年12月に3町で、北海道知事等に早期指定と名称を釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会で意思決定した『厚岸・霧多布・昆布森国定公園』とするよう要請活動を行いました。本年度も、引き続き早期指定に向け、関係機関と連携した要請活動を行うとともに、北海道と連携し、公園計画策定に向けた準備を進めてまいります。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエについては、総合観光雑誌『北海道じゃらん』の道の駅ランキング・食事メニュー部門において、全道122駅中、9年連続1位を獲得するなど、観光中核拠点施設としての役割を果たしてきました。マスメディアによる情報発信や道内外での誘客活動が功を奏し、入館者、売上ともに伸び、令和元年度の入館者数は、前年度同様に28万人を超える見込みであります。

本年度は、本格出荷される『厚岸ウイスキー』を活用した魅力ある食

の提供を図るとともに、厚岸蒸溜所見学ツアーの充実を図ってまいります。

さらに、道道沿いに設置している館銘看板や屋外多目的トイレの改修などを行い、施設のさらなる魅力向上に努めてまいります。

このほか、あつけし望洋台トイレ前の外構整備や、老朽化が著しいピリカウタ広場トイレの外壁を補修するなど、観光施設の適切な管理に努めてまいります。

雇用については、依然として労働力不足を解消できない事業所が少なくないことから、ホームページなどによる町内の求人情報の一元化と、ハローワークと連携した求職・求人情報提供サービスを継続し、町内での就業を促進するとともに、厚岸翔洋高等学校や各産業経済団体などで構成する『厚岸町雇用対策連絡会議』を通じ、町内の各企業、団体と新規採用などの雇用対策に関する情報の共有を図るほか、専門技術の習得や季節労働者の通年雇用を促進するため、釧路地方職業能力開発協会などと連携し、各種研修機会の提供に努めてまいります。

みんな笑顔で健やかに、 つながり支え合うまち

子ども・子育て支援については、重点施策の一つである人口減少対策



の柱であります。本年度からスタートする『第2期厚岸町子ども・子育て支援事業計画』に基づく取組により、厚岸町の宝である子どもを安心して産み育てることができるようまちづくりを推進してまいります。

保育所の建設については、『しんりゅう保育所』は、引き続き工事を進め、本年7月に開所いたします。

また、厚岸保育所は、引き続き用地造成工事を進め、本年7月をめどに、翌年7月の開所に向けた建設工事に着手いたします。

幼児教育・保育については、保育所における0歳から5歳までの全ての子どもへの保育料と食材料費の無償化を引き続き実施いたします。

幼稚園に対しては、特定教育・保育施設の運営に必要な給付と保育料

の無償化、副食費の助成を継続してまいります。

また、特定不妊治療の前段階で行われる一般不妊治療に係る費用助成については、医療保険適用外の治療費も対象に加えて実施いたします。

このほか、子育て世代包括支援センターの体制の充実と子育て情報発信アプリの利用の促進を図るとともに、新生児聴覚検査と産婦健康診査の費用助成、出産祝金10万円の支給、子育て世帯の外出を支援するためのハイヤー券の交付、ファミリーサポート利用料の助成、子育てお助けブックの配付、妊婦健康診査通院費の助成や助産院による妊産婦子育て相談、産後ケア事業による支援を継続してまいります。

町民の健康推進については、『第2期みんなすこやか厚岸21・中間評価改訂版』で掲げた『幼児のむし歯が多い』『成人の喫煙率が高い』『塩分摂取量が多い』の3点の重点課題をはじめ、各分野ごとに設定した目標値を達成するため、引き続き本計画に基づく取組を推進してまいります。

また、食育の推進と自殺対策の推進については、本計画と一体で策定した『厚岸町食育推進計画』と『厚岸町自殺対策計画』において設定した目標値を達成するため、引き続き両計画に基づき、関係機関・団体等と連携して取り組んでまいります。